

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 6 年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議会第 1 回会議
開 催 日	令和 6 年 1 0 月 3 1 日（木）
開 催 時 間	午前 9 時 5 6 分開会 ・ 午前 1 1 時 4 8 分閉会
開 催 場 所	白岡市役所 4 階 特別会議室 1 ・ 2
会 長 の 氏 名	久保木 孝夫
出 席 者 の 氏 名・出席者数	彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議会委員 久保木 孝夫、山下 幸一、柴山 利幸、情野 雄太郎、 長谷川 敏夫、浅井 嘉一、福田 航、加藤 一弘、 佐井 純一郎、小林 聡一 1 0 人
欠 席 者 の 氏 名・欠席者数	彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議会委員 戸田 恵美子、工藤 己之助 2 人
説明員の氏名	環境課 主査 今泉 和也 環境課 主任 松原 直美
事務局職員の職・氏名	環境課 課長 伊藤 真州 環境課 主査 今泉 和也 環境課 主任 折原 浩幸 環境課 主任 松原 直美
その他会議出席者の職・氏名	埼玉県環境部みどり自然課 主査 藤崎 貴宏
会 議 次 第	1 開 会 2 委 嘱 3 あいさつ 4 議 題 (1) 会長及び副会長の選出 (2) 令和 5 年度事業報告について (3) 令和 6 年度事業計画について (4) ふるさとの森にかかる消耗品購入について 5 そ の 他 6 閉 会

配 布 資 料	会議次第 資 料 1 彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議 会名簿 資 料 2 令和5年度白岡緑と土の会事業報告書 資 料 3 令和6年度白岡緑と土の会事業計画 資 料 4 令和5年度彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの 森にかかる消耗品等購入一覧
---------	--

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今 泉 主 査	1 開 会 会議を開会
藤井市長	2 委嘱書の交付 藤井市長から委員に対して委嘱書の交付を行う。
藤井市長 今 泉 主 査	3 あいさつ 藤井市長からあいさつ 委員紹介 オブザーバー紹介 環境課職員紹介
今 泉 主 査	4 議 題 (1) 会長及び副会長の選出 議事の進行は、彦兵衛下小笠原遺跡ふるさとの森検討協議会設置要綱第6条第1項の規定により、「会長がその議長となる」となっているが、会長が決まっていないことから、会長が決まるまでの間、伊藤課長が議長を務めさせていただく。
伊 藤 課 長	会長、副会長は、委員による互選となっている。いかがするか。
加藤委員	事務局に腹案はあるか。
今 泉 主 査	久保木委員に会長、浅井委員に副会長として御協力願いたい。
伊 藤 課 長	事務局から案の説明があった。意見はあるか。
出席者一同	異議なし
伊 藤 課 長	異議がないので、会長に久保木委員、副会長に浅井委員とすることに決定する。
久保木会長	久保木会長からあいさつ

浅井副会長	浅井副会長からあいさつ (藤井市長は退席) (久保木会長が議長となり、議事を進行)
	(2) 令和5年度事業報告について (3) 令和6年度事業計画について
久保木会長	議題(2)令和5年度事業報告について、(3)令和6年度事業計画について、それぞれ関連があるため、一括して議題とする。事務局から説明を求める。
松原主任	資料2及び資料3に基づき説明
久保木会長	事務局からの説明が終了した。 各委員には積極的に森に行っていただき、来年度の事業報告はより意義のあるものにしていきたい。 それでは、何か質問はあるか。
A 委員	動植物調査が行われているということだが、アライグマやハクビシンなどの有害獣はひこべえの森ではどうなのか。
B 委員	近隣の果実などの被害の状況から何らかの動物がいると思う。ハクビシンにしてもイタチにしても好き好んで来たのではないと思う。そのような動物を引き寄せない努力をしなければならない。
A 委員	昔はあちこちに森があった。その頃はアライグマやハクビシンによる被害など聞いたことがなかった。だんだん森がなくなってきた、ひこべえの森をはじめ、残った森に集まらざるを得なくなってきたのではないか。ただ、アライグマなどは古来からいるタヌキなどとは扱いが違うのでは。
C 委員	森にタヌキやキツネはいなくなったが、柿などに被害は生じている。
A 委員	そういうことであれば、捕獲も含めて調査が必要とを感じる。

D 委員	私は白岡高校の近くに住んでいるが、先日タヌキを見た。また、高校の南側の空き地でアライグマの死骸を見た。住宅街まで出沒している。
C 委員	私の家では柿の木に登られて、実を食べられた。タヌキは木に登るのか。
A 委員	タヌキは木には登らないと思う。ハクビシンやアライグマなら登るだろうが。
C 委員	私もタヌキではないと思う。鳴き声も違う。
E 委員	宮代町で幼稚園をやりながら活動しているが、昨年、早朝にタヌキを見た。畑ではハクビシンの被害が多い。 アライグマの捕獲は新しい村の近辺で行っている。農作物の被害はハクビシンによることが多い。
D 委員	人間に危害を加えることはあるのか。
E 委員	聞いたことはない。
A 委員	近所では疥癬症にかかったタヌキから感染して、大変な目にあった人がいた。
B 委員	森で作業をしていた時に近所の農家の方から、キツネでもタヌキでもない妙な生物を見たと言った。キョンではないか。
伊藤課長	キョンは千葉県などで被害が多く、埼玉県中北部の辺りでキョンを見たという情報は、今のところ環境課に寄せられていない。
E 委員	キョンのいる森となるとイノシシもいる状態となる。この辺りでは入って来られないと思う。
B 委員	害獣については、駆除も大事だが、共存という道もあるのではないか。
D 委員	梨の害獣の被害は、実際に今年はあったのか。
A 委員	網を張ったりなどの手を打っているが、地面を掘られるので、箱罠以外の対策は今のところない。
D 委員	ひこべえの森は自然が豊かなので、害獣などの住ま

	いとしては良いのかもしれないが、エサは周辺の柿くらいか。
C 委員	家で食べられているのは、柿とぶどうである。
F 委員	私は上野田の「そらのいえ」で活動しており、タヌキはよく見る。なるべく共生したいという気持ちがあり、例えばオオタカが害獣を食べるなど、そのような環境を作っていけば、生態系がより良い方向に行くと思う。森の今後の活用ということだが、私は畑もやっており、自然農という森に近い環境を作って、野菜を作っている。その中の一つに菌ちゃん農法というのがある。落ち葉の下に糸状菌が広がっており、それを土の中に入れ、半年間くらい寝かせると栄養分となり肥料となる。そのような農法をしている人から資材はないかとの問合せがあったので、久保木会長の了解をいただき、落ち葉や枯れ枝などを拾わせていただいた。土の上も活用できるが、土の下も活用できるので、上手く発信していけば、そういった方々が新たに森に来てくれる可能性がある。
B 委員	今まで気が付かなかった利用方法だと思う。
E 委員	私の畑は無肥料でやっている。根の先に菌根菌が付くことによって土壌の栄養を吸収することができ、無肥料でも野菜が育つので、菌をいかに増やすかというのが土の中の環境を良くしていくこととなる。
	ビートルベットを作ることによって、分解されたものの中に菌が増えて、森の新しい活用ができる。
B 委員	菌については、今後も積極的に活用していきたい。
D 委員	先日、森に行ったときに E 委員が多くの子供たちを連れて勉強していたが、年間何回やっているのか。
E 委員	7 月、8 月を除いて、「森のようちえん」として毎週 1 回くらい通っている。

D 委員	ひこべえの森には、そのような活用のあるのか。
E 委員	都内の方へ行くと、管理が進みすぎて森というよりも公園となってしまう。また、都内とは逆方向では、反対に管理されていなくて荒れていたり、造園業のバックヤードのようになっていくことが多い。ひこべえの森のようなバランスのとれた森は非常に少ない。関東圏内にこのような良い森はないと思う。
D 委員	素人考えでは、きれいになって見通しが良くなれば良いと思っていたが、そうではないということか。
E 委員	見通しが良くて風通しが良いことは、良い点もあるが、生態系が変わってしまう。低木、高木、その中間の木がバランス良く配置されていることが大事である。
B 委員	宮代町の山崎山を管理している人から聞いたのだが、「山崎山は管理し過ぎている。ひこべえの森は理想的である。」と言っていた。
D 委員	以前、ひこべえの森でコンサートをしていたと思うが、その後はどうなのか。
C 委員	弁当を作れないから止めた。弁当などを用意すれば人は集まるが、誰が用意するのかということである。
F 委員	森でコンサートができたら良いと思う。準備をどれだけ手分けできるかが、ポイントではないか。
久保木会長	ほかに何か意見や質問はあるか。
委員一同	なし
久保木会長	質問もないようなので、質疑を終了する。
久保木会長	(4) ふるさとの森にかかる消耗品購入について 次に、議題(4)ふるさとの森にかかる消耗品購入についてを議題とする。事務局から説明を求める。
今泉主査	資料４に基づき説明
久保木会長	事務局からの説明が終了した。意見・質問等あるか。

B 委員	エンジン発電機はどれくらいの容量があるのか。
今泉主査	容量は確認できないが、数時間は使用できると思う。
B 委員	何ワットくらいか。
今泉主査	把握していないので、後ほど確認する。
B 委員	備品として自由に使っていいものなのか。
今泉主査	倉庫内の他の備品と同様に森の管理活動に使っていただきたい。
C 委員	発電機は必要ないのでは。何に使うのか。
B 委員	野点などのイベントでお湯を沸かすときに使いたい。
C 委員	カセットコンロで十分なのでは。森に発電機は不要と思う。
B 委員	今後、森でコンサートなどをするとき楽器の電源としても使える。
C 委員	電気が必要なら、私の家の電源を提供する。
久保木会長	発電機の利用については、今後検討したい。 そのほかに意見等あるか。
B 委員	チェーンソーや刈払い機など使用を誤ると大きな事故になる。使い方の講習会が必要と思うが、市ではどう考えているか。
今泉主査	講習を受けてまでの難しい作業までは考えていない。現状のとおり、できる範囲でお願いしたい。
E 委員	刈払い機の講習は、振動障害とかの知識の問題にも関わる。ボランティアが何の知識もないまま作業をして、振動障害になってしまうおそれもある。将来的には講習会が必要と思う。 また、先ほど発電機の話があったが、買ってしまってからこの場で有効活用しましょうということではなくて、購入前に話し合えると有り難い。 刈払い機については、最近バッテリー式のものが出

	てきた。エンジン式に比べ、特に女性の負担が小さい。 メンテナンスも楽なので、今後、順次バッテリー式に移行していただきたい。
G 委員	バッテリー式は本体、バッテリーとも高価であるが、音が静かで良い。
B 委員	森の備品を入れている倉庫の脇に使用できないチップがあるが、廃棄できるか。
今泉主査	壊れていて使えないということなので、少しずつ解体して廃棄していきたい。
E 委員	日本工業大学でバイオマス発電の研究をしている教授がいる。そういうところに譲渡することは可能か。環境センターから譲り受けた物ではあるが、海外製で飛行機のエンジンを使った良いものである。
今泉主査	日本工業大学とは連携協定を結んでいることもあるので、可能性としては探っていきたい。
久保木会長	ほかに何か意見や質問はあるか。
F 委員	日本工業大学と一緒に森の活用ができないか。違った層の方々に来てもらったり、学術的な研究につながったりするのも面白いのではないか。
B 委員	私からの提案であるが、ひこべえの森を白岡遺産として登録の申請をしたいと考えている。ひこべえの森を守っていこうとする意志が登録されることにより、オーソライズされることが期待できる。仲間作り、ボランティア作りに役立っていくのではないか。それが将来、企業からの協力、支援につながっていく、そういったところまで持っていきたい。登録されたからといって、市からの金銭的な支援が受けられるというものではない。 森をどのように利用していくか、我々が管理・整理する目的は何なのかを表に出していかないと申請でき

	ないと考えている。利用方法としては、子供達の環境教育の場が第一ではないかと思う。 申請して白岡遺産として認められるかどうかは、来年5月頃の白岡遺産保存活用市民会議で審査される。それまでに申請書を提出したいと思っている。まだ時間があるので2回から3回、ワークショップを開いて検討したいので、委員の皆様にも是非手を挙げていただきたい。
久保木会長 H委員	この件について意見等あるか。 白岡遺産の所管課である生涯学習課から参加させていただいている。現在のところは、文化財を中心に登録を行っている。ジャンルに関わらず、ふるさとの森のような自然も後世に残すという意味では遺産になっていくと考える。
久保木会長 D委員 H委員	ほかに何かあるか。 今年のひこべえの森の冬の集いの計画は。 12月14日の土曜日に開催し、内容は環境保全として草刈りや枝落とし、冬の集いとして豚汁の炊き出し、焼き芋などを行うと聞いている。中学校にボランティアの依頼をしている。
D委員 H委員 久保木会長	白岡高校には依頼しているのか。 確か、していないと思う。 G委員のような樹木管理のプロから見たひこべえの森はどう感じるか。
G委員	密集してきたら、間引きするのが良い。竹が密集すると日当たりが悪くなる。
久保木会長 委員一同	ほかに何か意見や質問はあるか。 なし
久保木会長 今泉主査	議事が全て終了したため、議長の職を降りる。 以上で議事はすべて終了した。

今泉主査	5 その他 その他に関して、事務局から1点報告がある。 今年度、埼玉県のみどり自然課が主体となり、ふるさとの森などの自然環境を企業とマッチングして何かできないかというものが始まった。ひこべえの森にも声がかかり、10月8日の意見交換の場に参加した。相手があることなので、どうなるか分からないが企業の協力による森の整備や資金の援助もあるかもしれない。また、企業が森を使ってレクリエーションをしたりするなど、上手くマッチングできれば、新たな展開ができていけると感じる。今後、進展があれば報告させていただく。
C 委員	具体的な企業名は出てるのか。
今泉主査	市外になるが造園業やキャンプ場を運営している企業が森で不要となった木を引き取り、キャンプ場で使う取組をしている企業があった。
今泉主査	委員からほかに何かあるか。
委員一同	なし
	6 閉 会
今泉主査	会議を閉じる。

以 上